



令和3年度 PDA熊本高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年2月19日（土）09:15-15:30

会場：オンライン（Zoom）

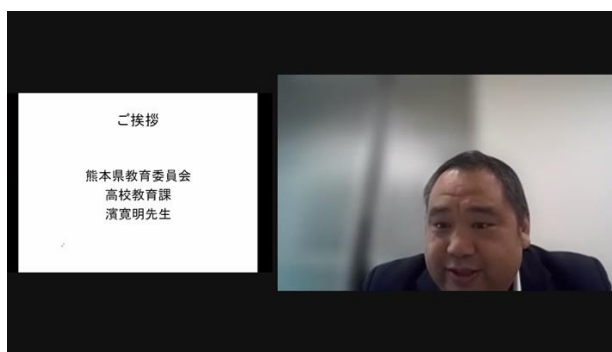
参加校：13校、30チーム（熊本県立熊本高等学校、熊本県立熊本第一高等学校、熊本県立熊本第二高等学校、熊本県立熊本西高等学校、熊本県立熊本北高等学校、熊本県立鹿本高等学校、熊本県立宇土高等学校、熊本県立八代高等学校、熊本県立水俣高等学校、熊本県立熊本商業高等学校、熊本県立済々黉高等学校、熊本県立天草工業高等学校、熊本県立東稜高等学校）

参加者：生徒137名、教員30名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ



開会式では、熊本県教育委員会高校教育課の濱寛明先生より、英語で「13校30チームの参加と昨年よりも参加数が増えたことを嬉しく思います。頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事中川智皓より、「オンラインでの開催ではありますが、他校の生徒との交流を楽しみながら頑張ってください。」とエールが送られました。そして、参加校の紹介やジャッジの紹介、POI(Point of Information)に関する確認と練習が行われました。



高校教育課 濱先生ご挨拶



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶

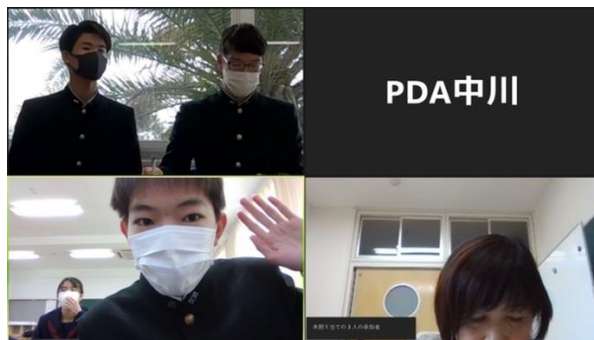


POI の練習

まずは練習ラウンドです。論題は「***High school students should have part-time jobs.*** (高校生はアルバイトをすべきである。)」でした。本日最初のラウンドに緊張しながらも、堂々とスピーチしたり、POI を通した質疑応答にチャレンジしたりする様子が見られました。ディベート後は、お互いに何年生かたずねたり、ディベート中の定義や POI の内容についてディスカッションするテーブルもありました。



POI！（八代高校）



POI！（天草工業高校 VS 鹿本高校）

第1ラウンドのお題は「***High school should divide classes based on grades.*** (高校は成績順でクラス分けをすべきだ。)」でした。肯定側も否定側も異なる視点から高校生の成績向上にとってどちらが良いのかについて議論しました。どのチームも用意したことを読み上げるのではなく、相手のスピーチを聞いて、反論や再構築に取り組む姿が見られました。

ディベート後はディベートの内容だけでなく、普段の高校生活や英語の勉強方法などについても話し、交流を深めました。

また、熊本の交流大会は全テーブル教員がジャッジを務め、生徒へ勝敗や個人コメントの説明を行いました。



水俣高校 VS 熊本西高校



熊本高校 VS 水俣高校



第二高校 VS 熊本商業高校



済々黌高校 VS 第二高校



熊本商業高校 VS 宇土高校



天草工業高校 VS 熊本高校



熊本第二高校 VS 東稜高校



熊本西高校 VS 鹿本高校



熊本商業高校 VS 八代高校



熊本西高校 VS 鹿本高校



ディベート後の交流（熊本第一高校 VS 鹿本高校）



ディベート後の交流（熊本第二高校 VS 済々黌高校）



ディベート後の交流（熊本高校 VS 東稜高校）



ディベート後の交流（熊本北高校 VS 鹿本高校）



ディベート後のジャッジコメント（熊本高校 VS 熊本第二高校）

続く第2ラウンドのお題は、「*Space travel by the rich should be criticized. (富裕層の宇宙旅行は批判されるべきだ。)*」でした。宇宙開発の観点、観光の観点、社会貢献の義務と個人の権利についてなど様々な論点でディベートが展開されていきました。

具体例を説明したり、反論の際に比較をしたりなど第1ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを活かそうとする様子が見られました。



熊本高校 VS 済々黌高校



POI！（熊本北高校 VS 熊本第二高校）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*University education should become free. (大学教育を無料化すべきである。)*」でした。初めてチームを組む他校の生徒と準備・ディベートを行い、アイコンタクトも意識したスピーチを披露しました。また、このエキシビションディベートはPDA認定教育ジャッジのジャッジ実技試験を兼ねており、ディベート終了後、実技試験受験者がジャッジコメントを行いました。



エキシビションディベート



ジャッジ実技試験・ジャッジコメント

閉会式では、エキシビションディベーター賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。個人賞を受賞した生徒が最後に「初めての即興型英語ディベートで緊張したけど積極的に取り組めてよかった」「2回目の参加だが、前回よりも成長を実感できてよかった」と感想を述べました。最後にPDA代表理事中川より「大学でもオンライン化が進み、海外の研究者とのやりとりが以前よりも増えています。皆さんも今後、オンラインを活用して世界中の様々な人と繋がっていくと思います。今日の経験をぜひ今後活かしてください。」とコメントが述べられ、交流大会の幕を閉じました。

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM _____さん (熊本 A)
- ・LO _____さん (水俣 B)
- ・MG _____さん (熊本西 B)
- ・MO _____さん (済々黌 B)
- ・LOR _____さん (八代)
- ・PMR _____さん (熊本北)



エキシビジョンディベータ

〈チーム賞〉

- 1 位 熊本高校 C
- 2 位 熊本北高校
- 3 位 熊本高校 B
- 4 位 熊本西高校 A
- 5 位 熊本高校 A
- 6 位 宇土高校
- 7 位 熊本第二高校 A
- 8 位 熊本商業高校 B
- 9 位 熊本第一高校
- 10 位 八代高校



1 位 熊本高校 C



2 位 熊本北高校



3 位 熊本高校 B



4 位 熊本西高校 A



5 位 熊本高校 A



6 位 宇土高校



7 位 熊本第二高校 A



8 位 熊本商業高校 B



9 位 熊本第一高校



10 位 八代高校

〈ベストディベーター賞〉

_____さん (熊本北)
 _____さん (熊商 A)
 _____さん (熊本 C)
 _____さん (熊本 A)



ベストディベーター賞

〈POI 賞〉

_____さん (熊本 C)
 _____さん (宇土)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・難しかったけどチームと協力して出来たのでとても楽しかったです。（水俣高校）
- ・様々な視点からの意見や、レベルの高い人たちのスピーチを聞いて、英語の勉強のモチベーションにもなりました。（水俣高校）
- ・なかなか自分の意見を他の言語で言える機会は無いので大きな経験ができて嬉しかったです。英語学習へのモチベーションが上がり、これからもディベートに関わって行きたいです。 素敵な機会をありがとうございました。（熊本商業高校）
- ・初めてだったけど、やっぱり重ねると上手くなるのかなと思います！次もやってみたい！（熊本商業高校）
- ・初めてだったけどきちんと意見を言えたので良かったです。（鹿本高校）
- ・英語の勉強をしていく上で良い勉強になったと思う。（鹿本高校）
- ・これからも続けていきたいと思いました。（熊本高校）
- ・POI を初めてすることができ、チームの仲間と協力しながら試合を進めることができた。（熊本高校）
- ・来年も参加したい。（天草工業高校）
- ・POI ができなかったので、次の参加の時は 積極的にしたいと思った。 次は、ベストディベーター賞目指して頑張りたいです。（天草工業高校）
- ・みんなと協力してできたし、対戦相手の方ともたくさん話せた。（熊本西高校）
- ・楽しかったです。もう少し英語を話せるようにできるようになりたいと思いました。（熊本西高校）
- ・本日は他校との交流と英語ディベートをさせて頂ける機会をいただき嬉しかったです。私にとって英語ディベートは未知数のもので、練習においても同じ高校の人たちとしかしなかったもので、自分よりもレベルの高いディベーターの人たちの主張や英語の発音を聞いていると、まだまだ頑張らなきゃという意識が生まれました。本日は本当にありがとうございました。（熊本第二高校）
- ・ほかの高校の方々とお話できてよかったです。なかなかこういう機会はないと思うので参加して本当に良かったです。（熊本第二高校）
- ・なれてくると段々議論することが楽しくなってきた。（熊本第二高校）
- ・一回負けてしまったので、反省点を踏まえた上でリベンジする機会がほしいです。（東稜高校）
- ・有意義な時間を過ごせました。（東稜高校）
- ・自分の英語力をみつめなおすいいきっかけになったからです。また、チームメイトと協力して勝利をつかむことが出来て楽しかった。（宇土高校）
- ・ディベートを通して英語でのコミュニケーション能力を鍛えることができて良かったです。 また他校の人と交流することができてたのしかったです。（宇土高校）
- ・とてもいい機会であったような気がします。していて、自分の意見を出すのはとても難しかったですが、その分新しい意見を聞いてそれに反論するのが楽しかったような気がします。（済々黌高校）
- ・全く練習せずにこの交流大会に参加したので、あまり思うように話すことができませんでした。だ

- けど、同じチームのメンバーと一生懸命協力しながら参加できて良かったです。(済々黌高校)
- ・ 同じ高校生とディベートが出来て楽しかったですし、とても刺激になりました。(熊本北高校)
 - ・ 合理的に考える力が高まったと思う。(熊本北高校)
 - ・ 同じチームの人達と役割を分担して進めていくことが楽しかった。(熊本北高校)
 - ・ 試合後のジャッジの先生方のアドバイスや エキシビションディベートがすごく 参考になりました。いい経験になりました。(熊本第一高校)
 - ・ いい経験ができたいろいろなことを学んだりして参加してよかったと思いました。(熊本第一高校)
 - ・ ディベートだけではなく、対戦後の交流でいろいろなことについて話すことが出来ました。最近ディベートをする機会がなかったのでこのような機会をいただくことができ感謝しています。POI 賞にも選んでいただきとてもうれしかったです！ほんとうにありがとうございました。(八代高校)
 - ・ 本当に出て良かったです。自分と同じ高校生の皆さんがこんなにわかりやすい主張をしていて もっと頑張らないとなと思いました。(八代高校)
 - ・ 他校の生徒たちの頑張っている姿に触れることができ、大変刺激になりました。(教員)
 - ・ 色々な学校の様子や生徒たちの英語力を間近で見ることができました。(教員)
 - ・ 用意された文章を読み上げたりするのではなくコミュニケーションの場面に近い設定での英語力の力を図る大会と思う。(教員)
 - ・ コロナ禍で行事ができていない中、生徒たちがいきいきと他校の生徒と交流している姿が教員として嬉しかったです。(教員)
 - ・ 高校生が英語でテーマについて即興で論理的に展開しながら議論する姿にとっても刺激を受けました。回数を重ねるごとに上手くなっており、アドバイスなども頷きながら聞いてくれる姿を見て、吸収力の高さやモチベーションを実感することができました。前回、自分自身もディベートを体験してみて初めはとても難しいと感じましたが、回数が増えるとだんだん面白く感じることをできたことを思い出しました。今日参加している生徒さんの多くは日頃からディベートなど英語を使ったコミュニケーションをする機会が多いのではないかと思います。私の勤める学校でも取り入れていきたいと感じました。ありがとうございました。(教員)
 - ・ 様々な高校の生徒が頑張っている姿を見られて嬉しかったです。本校の生徒も参加し、刺激を受けることができました。(教員)
 - ・ ディベートだけでなく、採点中も生徒同士でコミュニケーションが活発にできていて、非常に刺激になったと思います。(教員)
 - ・ 生徒の皆さんの熱意や興奮がとても伝わってきました。こういう英語を話したり使ったりする機会を求めている生徒もいるのだと思いました。(教員)